
僕という詩人の唄

紅兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕という詩人の唄

【Nコード】

N9159X

【作者名】

紅兎

【あらすじ】

まだまだ修行中の詩人、僕の経験や気持ちを詩っぽくしました。

ちょっと切ない感じのものが多いますが…

見てくれたら嬉しいです

（笑）

∴切ない恋とか恋愛してる人にオススメです。

闇≠光（前書き）

貴方の名前…

叫びたいのに声が出ない。

触れたいのに、

届かない…。

闇
≠ 光

貴方の名前 叫びたいのに声がでない。

触れたいのに、届かない

どんなに想っても
闇へと消えていく。

どんなに愛しても、
泣いても、

温もり感じたくても、

全て届かず
わたしを壊していく…

自分を、

どんなに傷つけても

どんなに願っても

どんなに好きなことをしていても

心の痛みは増していくのみ。

とてつもなく苦しくて…

死にたいぐらいだ。

あなたを想うと
涙が止まらない。

貴方はわたしの闇を照らす

愛しく

切なく

美しい…月のよう。

一生…わたしは、

貴女に向かって手を伸ばすことしか…

できないんだね…。

愛してる…
愛してる…
愛してる…。

わたしは

貴方だけを、
感じていたい…。

誕生日

カレンダーを見て、今日はじめて私は気づいた。

…そう言えば、もうすぐ誕生日だった。

お昼ご飯を食べていると…

「ねえねえ。」

「欲しいものとかってある?」

となりにいた、女友達が私に聞いてきた。

「欲しいものかあ…。」

…そんなの、とっくに決まってる。

「特に無いよ」
貰えるなら、なんでも嬉しいしね」

「ええー。ちゃんと何か決めてよぉー！」
と、友達を困らしてしまった。

…ごめんね。

私は誤魔化してしまったの。

だって、私の欲しいものは…

…大好きな彼。

それだけだよ。

出会い+別れ（前書き）

どうせなら

一緒にいたいと思った。

だけど…。

それは、叶わないことだ。

出会い+別れ

どうせならば
一緒にいたいと思った。

だけど、それは叶わないことなんだ。

別れなければ、出会うこともできない。

出逢わなければ、世界は狭く、暗くなっていくだろう。

そして、立ち止まったままで、前に進むことは出来ないだろう。

言ってる意味…

貴方は分かるだろうか？

出逢いを求めるならば、
別れる。ってことだ。

ずっと、手を握り締めてきた、
仲間だろうが
友達だろうが
家族だろうが
恋人だろうが…

…いつか
離さないと、
いけないんだよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9159x/>

僕という詩人の唄

2011年11月16日08時27分発行